

医療・介護・健康データを活用するための基盤を構築・高度化することにより、医療・健康サービスの向上・効率化を図り、「医療DX」を推進する。

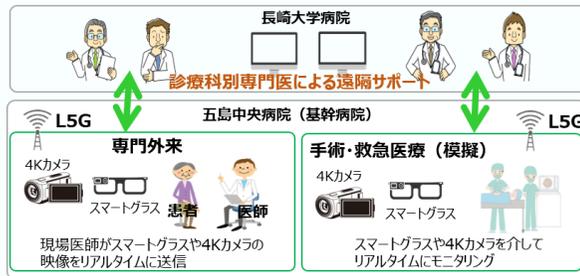
1. 遠隔医療の普及

(1) 研究開発・実証

●課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(R2~R4)

ローカル5Gを活用した課題解決や新たな価値の創造等に向け、医療・ヘルスケアをはじめ現実の利活用場面を想定した開発実証を実施。

(参考例)
専門医の遠隔サポートによる離島等の基幹病院の医師の専門外来等の実現



●高度遠隔医療ネットワーク実用化研究事業(R4~R6)

医師の偏在対策の有力な解決策と期待される遠隔医療の普及に向け、8K内視鏡システムの開発・実証とともに、遠隔手術の実現に必要な通信環境やネットワークの条件等を整理。

(2) ガイドライン等

●遠隔医療モデル参考書

遠隔医療システムの導入を円滑・適切に行うために必要となる知識や情報、システムの運用手順や構築パターン等に関する参考書。「遠隔医療(D to D)版」と「オンライン診療(D to P)版」。

2. P H Rデータの活用

(1) 研究開発・実証

●認知症対応型AI・IoTシステム研究推進事業(R2~R4)

IoTセンサーにより収集される生体データや環境データ等を集積し、AIにより解析することで、行動・心理症状(BPSD)の発症を事前に予測して介護者に通知するシステムを開発。

●医療高度化に資するPHR(Personal Health Record)データ流通基盤構築事業(R5要求)

日々の活動から得られるPHRデータを医療現場での診療に活用すべく、各種PHRサービスから医師が求めるPHRデータを取得するために必要なデータ流通基盤を構築する。

(2) ガイドライン等

●医療情報を取扱う情報システム・サービス提供事業者における安全管理ガイドライン

医療情報システム等の特性に応じた必要十分な対策を設計するため、想定される各リスクの特定・分析・評価を行い、それぞれのリスクの特性に基づいた対策を取るよう規定。

●民間P H R事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針

P H R事業者がマイナポータル等からの健診等情報を扱う際の遵守すべきルールの指針を策定。